

建築研究所ニュース



平成 24 年 9 月 10 日

23 名の研修生が参加した 1 年間の国際地震工学研修の
閉講式が 9 月 13 日に建築研究所で執り行われます。

独立行政法人建築研究所では、毎年、開発途上国から若い研究者や技術者を招き、地震学・地震工学・津波防災に関する 1 年間の「国際地震工学研修」を国際協力機構（以下 JICA）と協力して行っています。1960 年に開始以来、今回の修了生 23 名を含めて、現在 80 ヶ国から 1,057 名の研修生を受け入れています。

この 1 年間の「国際地震工学研修」は、建築研究所及び政策研究大学院大学（GRIPS）、JICA との連携により、所定の単位を取得すれば、修士号の取得が可能な研修となっています。

昨年 10 月に開講した「第 52 回国際地震工学研修」は、参加した 14 ヶ国 23 名の研修生全員が修士号学位を取得し、無事 1 年間の研修を修了しました。

9 月 13 日（木）11:00～建築研究所 2 F 講堂において閉講式が行われます。

過去の研修修了生では、ペルー国立工科大学のモラレス前学長（1970 年修了）や包括的核実験禁止条約機関 CTBTO のグウェンデル前国際監視制度局長（1976 年修了）らを輩出しております。

<参考：研修生の出身国名（14 ヶ国＝23 名）>

アゼルバイジャン、バングラディッシュ、中国（2）、ドミニカ共和国（3）、エルサルバドル、ハイチ、インドネシア（4）、マケドニア、マレーシア（3）、モンゴル、ミャンマー、パキスタン（2）、ペルー、フィリピン（ABC 順）
うち地震学・地震工学コース 18 名、津波防災コース 5 名

ご面倒ですが記事掲載の折には、その記録を留めるため、下記問い合わせ先へお知らせ下さい。

（内容の問合せ先）

独立行政法人建築研究所

所 属 国際地震工学センター
管理室長

氏 名 黒 澤 肇

電 話 029-879-0678 (直通)

E-mail kurosawa@kenken.go.jp